

## 会 議 録

会議名称	第四次西東京市地域福祉活動計画 第1回策定委員会
日 時	平成29年7月25日(火) 午後7時～9時
会 場	田無総合福祉センター2F 視聴覚室
出席者	(策定委員) 小林委員・中村委員・小松委員・熊田委員・坂口委員・伊田委員・横山委員 海老澤委員・三輪委員・鈴木委員・伊東委員・藤島委員 (事務局) 池田・丸木・鶴野・小平・浜名・妻屋・小口・齊藤 (コンサルタント) 小林・志村 <株式会社 ジャパンインターナショナル総合研究所>
欠席者	多田委員・事務局 本間
配付資料	次第・検討資料 資料 1 第三次西東京市地域福祉活動計画(概要版) 資料 2 西東京市社会福祉協議会 改革のためのアクションプラン 資料 3 「我が事・丸ごと 地域共生社会の実現」(厚生労働省資料) 資料 4 地域包括ケアシステムについて(厚生労働省資料) 資料 5 (西東京市)第3期地域福祉計画<平成26～30年度>(概要版) 資料 6 (西東京市)第6期西東京市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 資料 7 (西東京市)第4期障害者福祉計画<平成27～29年度>(概要版) 資料 8 (西東京市)子育て・子育てワイワイプラン<平成27～36年度>(概要版)
会議次第	1. 開会 2. 委嘱状交付 3. 西東京市社会福祉協議会 会長挨拶 4. 委員紹介 ・ 事務局職員紹介 5. 委員長、副委員長選出 6. 委員長・副委員長挨拶 7. 議事録、委員会の傍聴について 8. 趣旨説明(役割、検討依頼事項等) 9. 基調講演 10. 第三次地域福祉活動計画の進捗状況について 11. 計画策定のタイムスケジュールについて 12. アンケート調査及び懇談会の実施について 13. 次回日程、会場
決定事項	・委員長、副委員長が選任された。 ・社協のサービス利用者、地域福祉活動実践者を中心にアンケート調査<抽出調査(2,000件)>を実施する。 ・調査項目については委員の意見を集約し、事務局にて案を作成後、委員長・副委員長の意見を踏まえて確定する。
会議の内容 及び 主な発言	※次ページのとおり

## 会議の内容及び主な発言

### 1. 開会

### 2. 委嘱状交付

- ・村田会長の代理として池田常務理事より委嘱状交付

### 3. 西東京市社会福祉協議会 会長挨拶

- ・村田会長の代理として池田常務理事より挨拶

### 4. 委員紹介 ・ 事務局職員紹介

- ・委員・事務局の自己紹介

### 5. 委員長、副委員長選出

- ・事務局からの提案を受け、委員長に熊田氏、副委員長に坂口氏を選出する。

### 6. 委員長・副委員長挨拶

- ・熊田委員長、坂口副委員長より挨拶

(事務局)

- ・市の地域福祉計画策定のための委員会の委員長でもある熊田委員長には、市と社協の計画の整合性を図っていく観点から意見をいただくべく総括をお願いし、議事進行については坂口副委員長にお願いする。
- ・上記事務局からの提案が承認される。

### 7. 議事録、委員会の傍聴について

(事務局)

- ・議事録については、委員の名前を伏せる形で、委員長、副委員長、委員、事務局の発言を要点筆記でまとめさせていただく。
- ・策定委員会の傍聴については、本会の地域福祉活動計画策定委員会傍聴要領にもとづく。
- ・上記について承認される。

### 8. 趣旨説明（役割、検討依頼事項等）

- ・事務局より、検討資料 P6～9 に沿って説明

### 9. 基調講演

テーマ：第四次西東京市地域福祉活動計画策定にあたって

講師：武蔵野大学教授 熊田博喜氏

【質疑・検討事項等】

(委員)

- ・今の説明や計画の中で掲載されている「住民」「市民」の使い分けはあるのか。

(委員長)

- ・厳密な使い分けはしていないが、「西東京市に暮らしている人」、「西東京市に暮らしていない

が、西東京市に関わっている人」として捉えていくことになると考えられる。

## 10. 第三次地域福祉活動計画の進捗状況について

- ・事務局より検討資料 P10～13 に沿って説明

【質疑・検討事項等】

(委員)

- ・居場所づくり部会では、地域活動拠点での活動の展開として、毎週水曜日のサロン活動の実施、高齢者と小学生の交流、月1回の介護予防の取り組み等を実施している。また、毎回 20～30 人ほど参加があり、定着してきている。

## 11. 計画策定のタイムスケジュールについて

- ・事務局より検討資料 P14 に沿って説明

【質疑・検討事項等】

(委員)

- ・策定委員会の今年度の具体的な日程を示していただきたい。

(事務局)

- ・本日はご提示できないが、委員長、副委員長に相談の上、可能であれば次回の委員会でお示ししたい。

(副委員長)

- ・市の地域福祉計画はいつから策定作業がはじまるのか。

(委員長)

- ・既に動き出しており、夏には一度関係者で集まると聞いている。

(委員)

- ・市の方は、現在コンサルタント事業者を選定しているところである。市の方でも9～10 月にかけてアンケート調査を実施する予定である。社協の計画のスケジュールを見ながら進めていく必要はあるが、具体的な日程等が決まるのはもうしばらくかかる。概ねのスケジュールは社協のスケジュールと同様である。

## 12. アンケート調査及び懇談会の実施について

- ・事務局より検討資料 P15～22 に沿って説明

【質疑・検討事項等】

(副委員長)

- ・アンケートの対象は社協に関わっている人が中心になるが、学生など社協との関わりが薄い人などは今回想定していないのか。

(事務局)

- ・今回、市の方でもアンケートを実施するので、広く市民の意識を把握する部分は市のアンケートの結果で補いたいと考えている。年代層別の集計で拾っていきたい部分もある。また、これから市との協議になるが、市のアンケートに盛り込んでいただきたい項目を考え、市に依頼していく。

(副委員長)

- 今回実施するアンケートは、市が実施するアンケートとの棲み分けを行い、社協に近い方々に対して聞いていくという趣旨である。対象者は提案のとおりとし、設問内容についてご議論いただきたい。

(委員長)

- 資料として示されているアンケートは第二次計画策定時に実施したもので、設問は委員の議論により作成したものである。回収率も踏まえ、あまり設問を増やさないように配慮したいが、ほっとネットなど、前回実施した時にはなかった取り組みもあるので、そこをどう設問に取り込んでいくか。ほっとネット推進員やささえあい協力員にも今回のアンケートが届くことが想定される。
- 検討資料 19 ページ、問 10「地域の課題」について、当時は高齢者や虐待の話が主であった。設問を大きく変えると経年比較ができないので、変更は最小限に留めたいが、生活困窮や社会的孤立など、近年の課題については入れ込んでいく必要がある。
- 検討資料 22 ページ、問 20「住みたい地域」について、残すのであれば、地域包括ケアシステムが進んでいる自治体など、先進的な自治体を入れ込んでいくことも考えていいのではないか。

(委員)

- 第四次計画では社協の取り組み、住民の取り組みを入れ込んでいくということで、第二次計画の構成とも違う印象を受ける。社協のあり方を聞くのか、住民の取り組みを聞くのかをはっきりさせないと、焦点がぼけてしまうことが懸念される。

(委員)

- 先ほどの委員長の基調講演でもあったように、第四次計画の策定に向けて地域福祉実現へのチャレンジとして出していただいた「ふれまちやささえあいネットワーク、ほっとネットステーション、生活サポート相談窓口」に関連する内容を聞く必要があることと、第三次計画をさらに進めるという点では、市のアンケートで網羅できない部分もあり、そこは社協のアンケートで聞き取らなければならないと思う。

(副委員長)

- 対象に個人と団体があり、個人として答えられる部分と団体として答えられる部分があるが、棲み分けた方がよいか。次回の策定委員会で結果を示していただきたい。

(委員)

- この場だけで十分に意見を出すことは難しいと思うが、この場で最終案を固める以外に事務局としてどう考えているか。

(事務局)

- アンケートについては、来週末（8月4日）を目安に委員の皆様から意見をいただき、それを事務局でとりまとめ、項目案を作成した上で委員長、副委員長に確認していただく予定である。その後、調査を実施する前に、委員の皆様にご報告させていただく予定である。

(委員)

- このアンケートは、実施した結果を計画の策定に活かすためのものなのか。

(委員長)

- アンケートは地域にこういったニーズがあるか、課題があるかを把握するためのものである。実施した結果を見ながら、この場で話し合っって計画の方向性を決めていくことになると思う。

(委員)

- ・対象者が重要になるが、それもこれから決めていくのか。

(委員長)

- ・社協のサービスを何かしら利用している人、地域福祉活動に関わっている人等が中心になる。全数調査になるか。

(事務局)

- ・2,000件の抽出調査になる。抽出方法は今後検討していく。

(委員)

- ・市民の立場としては、市からも社協からもアンケートがくると混乱を招く。実際自分がどういう形で地域に関わっているか、どういうことだったら関われるかを聞いた方がいいと感じる。何ができるか、何がしたいかを盛り込んでいただくといいと思う。

(副委員長)

- ・社協に関わっている人が対象になるので、既に始まっているシステムに意見をいただく形もあるかと思う。

(委員)

- ・市にあるデータとして今後こういったものを取り扱っていくのか。また、市のアンケートと調整を図っていくということで、具体的にこういった手順を踏んでいくことになるか。

(委員長)

- ・8月に市と社協の計画策定を担当する関係者が集まって打ち合わせを行う予定である。その時点で社協の方のアンケート調査に関する方向性は固まっていると思うので、市民全体に聞いた方がいい設問と、社協に関わっている人に聞いた方がいい設問の摺り合わせができるようにしたい。社協が活動計画を作る際には社協に関わっている人全員に意見を聞くことが望ましいが、現実的に難しいのでアンケートの形をとっている。他の社協でも同様の方法をとっていることが多い。

(事務局)

- ・皆様の意見の中で、社協や地域福祉について市民に広く聞きたい設問もあるかもしれないが、そこは市で実施するアンケートに可能であれば盛り込んでいただきたいと考えている。
- ・実施時期がずれるので、混乱を招かないよう、時期と内容については調整していきたい。

(副委員長)

- ・アンケートについては8月4日までにご意見をいただきたい。

### 13. 次回日程、会場

- ・日時 平成29年10月24日(火) 19時～21時  
会場 田無総合福祉センター2F 視聴覚室

(以上)